

佐賀病院での診療情報を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究代表者	橋本明子
2. 研究課題名	小児アトピー性皮膚炎治療における血清SCCA2値と重症度評価との関連
3. 研究の概要	小児アトピー性皮膚炎の治療は従来、外用治療が主であったが、昨今、生物学的製剤や新規外用剤が使用可能となっている。加えて、小児アトピー性皮膚炎における重要なバイオマーカーとして血清SCCA2値が15歳以下の小児で保険適応となっている。他方、バイオマーカー以外にも医師や患者による重症度評価法が複数知られている。こうした現状をふまえ、小児アトピー性皮膚炎治療において様々な治療選択肢がある中、適切な重症度評価法の選択が課題となっている。したがって、本研究では、リアルワールドにおける血清SCCA2値と各種重症度評価法に関するデータを収集する。本研究は、小児アトピー性皮膚炎治療に応じた、適切な重症度評価法の選択が可能となるため、小児アトピー性皮膚炎の診療レベル向上に寄与するものとする。
(個人情報の利用の目的)	研究期間(データ収集期間)管理者承認通知書交付日～2027年03月31日
4. 使用する診療情報	診療情報内容:患者ID(情報管理に使用)、年齢、性別、身長、体重、診断名、既往歴、アトピー性皮膚炎の治療内容、ステロイド使用の有無、合併症、血液検査結果(赤血球数、白血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数、白血球分画、総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、AST、ALT、クレアチニン)、SCCA2、IgE、TARC、治療歴(治療内容、治療効果)、医師による重症度評価(SCORAD、EASI、IGAスコア)、患者による重症度評価(Numerical rating scale(NRS)、Visual analogue scale(VAS)、Children's Dermatology Life Quality Index(CDLQI))、養育者の負担を評価(Quality of life in Primary Care givers of children with Atopic Dermatitis(QPCAD)とその短縮版のQP9(QPCAD shortened to 9 questions))
	対象診療期間:2023年10月1日～2026年3月31日
5. 使用する検体	血液
6. 病名	小児アトピー性皮膚炎

① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会等において厳重に審査され、承認されています。また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。

② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の間い合わせ窓口までご連絡下さい。

☆お問い合わせ☆

佐賀大学医学部附属病院 皮膚科

杉田和成

住所：〒849-8501 佐賀県佐賀市鍋島5丁目1番1号

電話:0952-34-2368

FAX:0952-34-2017

e-mail: sugita@cc.saga-u.ac.jp